

# 三河商人道

PART  
174

(株)アンジュ

代表取締役社長

柴田 正規 君



## 青年部とは 「自分のペースで参加できる会」



### 【会社・仕事への思い】

サラリーマンとして設計の仕事に携わっていた 24 歳の時、転機を迎える。バブルが弾け、やりがい無くしたちょうどその頃、結婚をするかしないかで悩んでもいた。そんな時、岡崎の先輩から声がかかる。「結婚式場の仕事を手伝わないか」。と初めてのサービス業だったが、子供も出来、がむしやりに働いた。そして気付くと仕事に面白さとやりがいを覚え、バイトから社員に、社員から支配人に立場が変わっていた。そしてまだ岡崎にチャペルの無かった頃、支配人となった2年で、通常年 100 件の式をこなせば御の字なチャペルウェディングで、年間 200 件の式を執り行い、全国 1 位の評価を受ける。そこからは依頼を受け、仕事の休みに 4、5 件のコンサルタント業も抱え(コンサル料は給料の 10 倍!)、超多忙な日々を送る。そして 2000 年 3 月に独立。式場を持たない、お客様の要望やプランを重視したウェディングサロンとしてスタート。順調に業績を伸ばし、現在の場所にチャペルを建て、花遊庭を「隠れ家リゾート」として確立する。「当日まで見えないものに車ほどのお金を払うこの業界で大事なものは信頼関係しかない」と語る。「うちの結婚式はこうです」ではなく、式を挙げる 2 人の願い、想いを、花遊庭だからこそ叶えられる、そんな 2 つとない結婚式を築く為、今日もこだわりにこだわり抜いた仕事を徹底している。

### 【青年部に入会されたきっかけ】

豊田 JC に誘った旧知の友人、2005 年入会の(株)里光堂高原裕治君に今度は逆に誘われ入会。当時は 40 歳で JC を卒業し豊田 YEG に入会するも 45 歳で卒業、豊田のロータリーやライオンズにも盛んに誘われるも、高原さんのいる岡崎 YEG を選択。

### 【思い出に残る青年部活動】

話すのは得意なはずだが、例会での新入会員紹介でものすごく緊張したのを今でも覚えている。昨年の東海ブロック大会で、つボイノリオ氏、伊藤秀志氏のトークライブの司会を高原君と務めた事、平成 24 年度渉外委員会時、例会で替え歌を高原君とハマった「栄光の架橋」を事有る毎に歌わされたが、委員会の打ち上げで泣きながら歌った時、あんな経験初めてだったと、今思う。

### 【趣味など】

最近あまり行けてないが、ゴルフ(ベスグロ 73)

### 【青年部とは・・・】

決まりやしぼりの無い緩さが魅力で、仕事ではあり得ない出会いが財産になった。特に同期卒業 16 名の牛羊会(めいひんかい)は貴重で、後輩にもそんな出会いを活かし、仲間と沢山遊んで親交を深めて欲しいと願う。



取材担当／広報委員会  
大井教史  
櫻井喜朗  
高原裕治  
西森紳司  
三浦康宏